

先の 4 月 19 日(日)に行われた新試験制度初回の実施となる平成 21 年春期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者 / IT パスポート試験 / 初級システムアドミニストレータ試験の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

### IT パスポート試験 (IP)

[平成 21 年春期の IT パスポート試験 統計情報]

応募者	46,845 人
受験者	39,131 人
合格者	28,540 人
合格率	72.9%

今回初めて実施された平成 21 年春の応募者数は、予想よりも多めで好調なスタートを切ったといえるでしょう。試験センターから発表された資料によると、全体の 29.3% が学生で、内訳を見ると高校生の 5,781 人が最も多い受験者でした。参考までに 2 番目が情報処理・提供サービス業で 4,918 人、3 番目が大学生の 4,684 人です（その他、無記入除く）。

初回の合格率が注目されていましたが、72.9% という極めて高い合格率でした（高校生の合格率は 35.9%）。社会人になる前の学生が受験する試験としては適切な難易度と言えると思いますが、社会人受験者も多いことから今後は徐々に難易度が上がっていくのではないかと予想しています。

今回、新試験制度で初めて行われた IT パスポート試験は出題範囲が大変広く、IT 知識をまんべんなく理解しているかどうかを見るのには非常によい内容だと思われます。他の基本情報や応用情報に比べても、新傾向問題がたくさん出題されており、新しさが感じられました。

出題内容が用語の意味など基本的なことを問う問題なので、詳細を知らなくても類推できるものも多く、社会人にとっては大変易しい試験だったと思われます。

今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

#### (問題傾向)

- ・新試験制度初めての試験で、マネジメント系、ストラテジ系問題はやや難しく感じられる問題もありました。
- ・発表された得点分布から概算で平均点を計算すると約 682.2 点でした。
- ・過去問題の比率は全体の 1 割強で、他の試験に比べて圧倒的に少ない数でした。
- ・新傾向または新しい用語に関する問題として、次のような出題がありました。これらの出題内容は今後、基本情報技術者試験で出題される問題を予測させるものになっています。

問 3 RFP (Request For Proposal) の提示元と提示先

問 4 競争優位を確保する企業戦略

問 6 SaaS (Software as a Service) の説明

問 19 コアコンピタンス経営

問 22 経営理念の説明

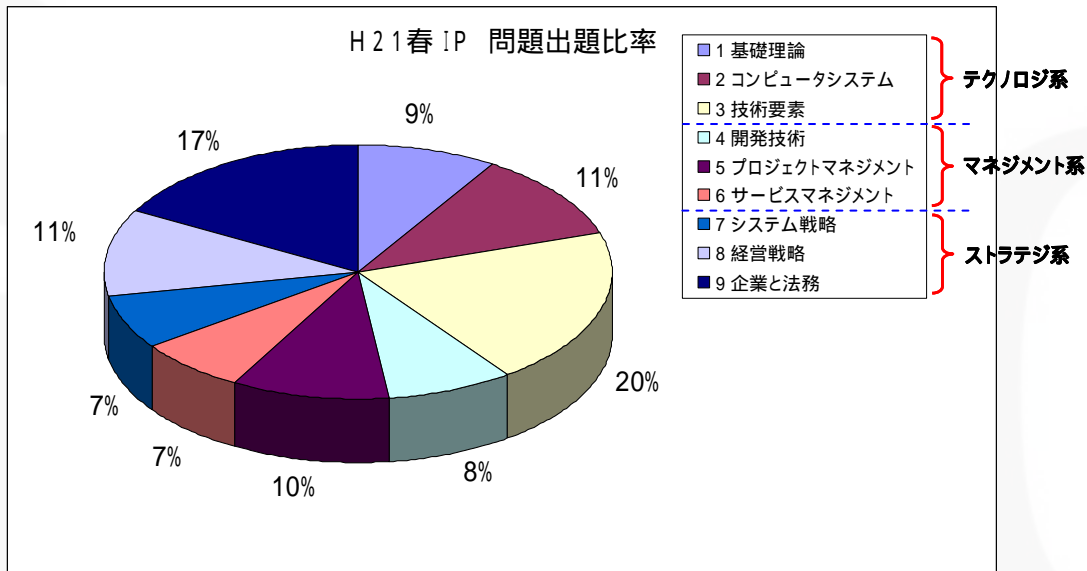
問 30 企業の情報戦略策定時に考慮すべき事項

問 31 プロダクトライフサイクルについて

- 問 32 システム開発プロジェクトのリスク管理
- 問 36 プロジェクト管理におけるマイルストーン
- 問 40 インシデント管理の目的
- 問 44 システム監査人の役割
- 問 46 SLA ( Service Level Agreement ) の目的
- 問 52 IT ガバナンスについて
- 問 61 MTBF, MTTR, 稼働率の組合せ
- 問 66 アナログ音声信号のデジタル化
- 問 79 高密度化, 省スペース化を実現したサーバ
- 問 80 度数分布グラフから読み取る分散
- 問 82 二つの処理によって得られる最終値

・なお、今回の IT パスポート試験では他の試験との重複出題は 1 問もありませんでした。まったく独自に問題選定されていると予想されます。

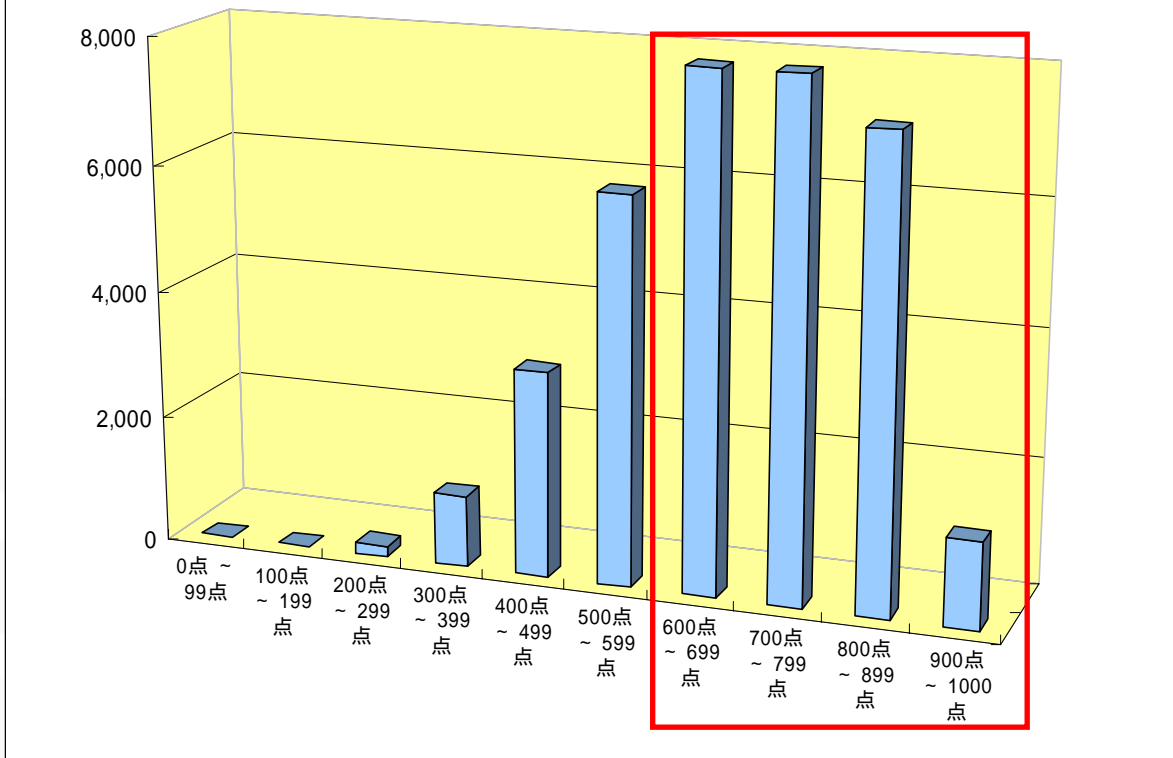
平成 21 年春期の IT パスポート試験



〔平成 21 年春 統計情報(IT パスポート 得点分布)〕

得点	試験
0 点 ~ 99 点	2
100 点 ~ 199 点	4
200 点 ~ 299 点	169
300 点 ~ 399 点	1,128
400 点 ~ 499 点	3,226
500 点 ~ 599 点	6,062
600 点 ~ 699 点	9,186
700 点 ~ 799 点	10,689
800 点 ~ 899 点	7,295
900 点 ~ 1000 点	1,370
計	39,131
合格者数	28,540
合格率	72.9%

平成21年春 統計情報(ITパスポート試験 得点分布)



試験ではあと100点に泣いたボーダラインにいる方が6,062人(全体の15.5%)いました。今後は徐々に難易度が上がると考えられますので、試験前の仕上げの学習を確実に行って、幅広い知識を理解する必要があります。

(今回合格された人)

合格された人は、基本情報技術者試験にチャレンジされるとよいでしょう。試験問題のレベルが一段上がり、技術者向けの新しい内容も入ってきますので、早めに学習することが必要です。

とはいえ、ITパスポート試験の内容がベースになりますので、苦手分野や今回解けなかった問題などを中心に復習することも忘れないようにしましょう。

学習にあたっては、アイテックで出版している予想問題集、本試験問題をご利用ください。また、受験対策のプロ講師が基本情報技術者の試験対策セミナーを行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めです。通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テストをすべて含んだ「基本情報技術者 総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間4か月の「基本情報技術者 速習コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

今回の午前試験の得点が500点~599点だった人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。今回、独学で受験された方には、弊社で行っている通信教育コースの受講をお勧めします。

コースには、新試験制度に対応させて作成した予想問題集や基礎テキスト、テストをすべて含んだ「ITパスポート 総合コース」がお勧めです。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。  
<http://www.itec.co.jp/>

(以上)

